

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県新宮市 新宮市立医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	対象	ド透訓方	救臨感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
25,822	21,878	-	第2種該当	10:1

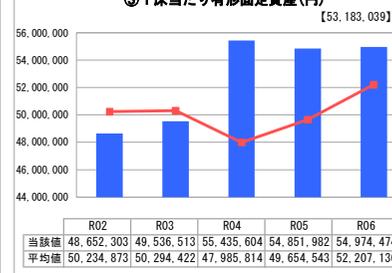
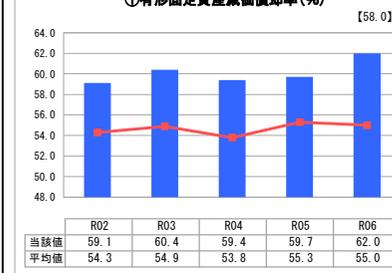
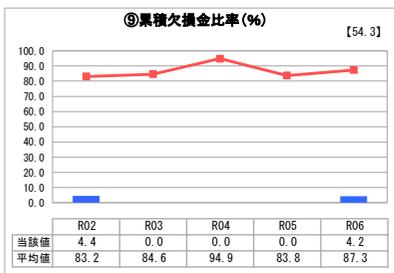
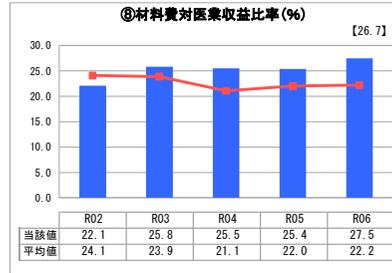
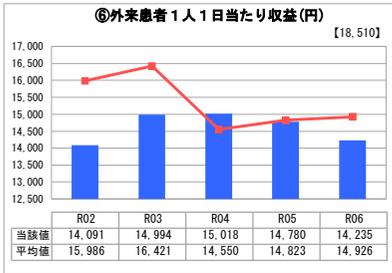
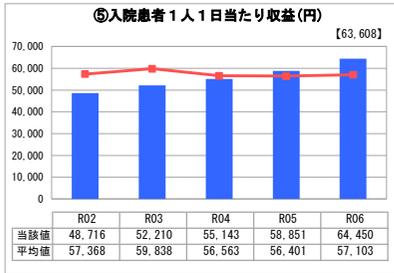
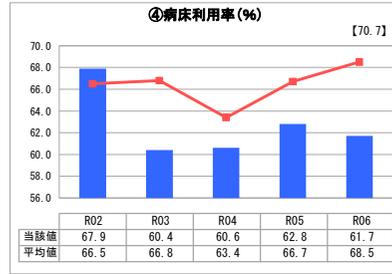
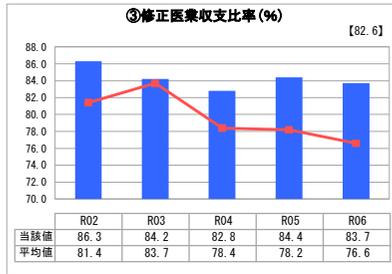
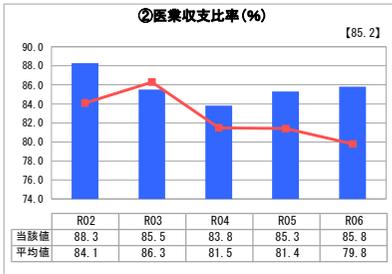
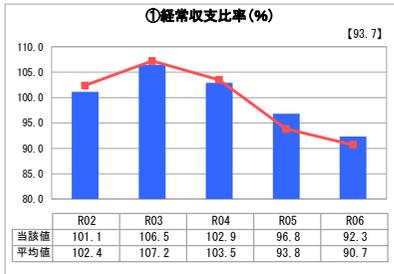
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
281	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	285
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
195	-	195

■ 当該病院値（当該値）
-
— 類似病院平均値（平均値）
-
【】 令和6年度全国平均
-

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の関係・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

当院は、新宮東車妻医療圏で最大の病床数を有する地域の拠点病院として、医療圏における中核的な役割を担っている。標榜している診療科は20科で、来院患者は新宮・東車妻地域の他に三重県熊野市・南車妻郡からの来院も多い。また、救急告示病院の指定を受け、24時間の2次救急、場合によっては3次救急まで対応している。更には災害拠点病院にも指定されており、有事の際には重要な役割を担うことになっている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度決算は、入院収益が整形外科等の手術件数の増等により増収となったが、コロナ以前の水準に達しておらず、看護師等の不足に伴う6階病棟（地域包括ケア50床）閉鎖の影響が大きい。  
①経常収支比率は医療収益が増加したものの、材料費も増加したため、昨年度から減少し、②医療収支比率は入院収益の増により増加したが、③修正医療収支比率は減少した。④病床利用率は、6階病棟（50床）の閉鎖の影響により減少した。⑤入院患者単価は全国平均を上回ったものの、⑥外来患者単価は全国平均を下回っているため、患者単価上昇に向けた取組や収益に対する費用の適正化を図り、経費節減にも取り組む必要がある。⑦職員給与費対医療収益比率は、全国平均を下回ったが、⑧材料費対医療収益比率は、全国平均を上回っているため、効率的な調達等について分析等が必要である。⑨累積欠損金は材料費等の費用の増により発生した。

### 2. 老朽化の状況について

建物本体は大きな増改築を行わなければ、減価償却が進むだけとなるため、減価償却費率は増加する。一方の医療機器は、機器の耐用年数も短く、医学の進歩に伴い新たな医療機器が開発される必要があり、地域の中核病院にふさわしい一定水準の機器を揃える必要があり、財政状況を勘案しながら定期的な更新を行ってきた。

近年は多くの医療機器等が耐用年数を迎えており、令和4年度に電子カルテシステム等を更新し、令和5年度は病棟ベッド等を更新する等、医療機器の整備が増加傾向にあったが、令和6年度の整備は若干減少した。このため、①有形固定資産減価償却率はやや増加し、②器械備品減価償却率もやや増加し、全国平均を上回った。

③1床当たり有形固定資産は、令和4年度に一般病棟26床を廃止し、高度急性期病棟5床を整備した事で病床数が減少したため、数値が高くなっている。

### 全体総括

当院は平成13年度の開院以来、圏内における医療の要として、圏域内で医療が完結できる体制づくりを目指し、医療スタッフや施設設備、医療機器等の充実を図ってきたが、地理的要因による医師・看護師不足や過疎高齢化による人口減等に伴い患者数は減少傾向にある。

令和6年度は、入院収益が増加する等、医療収益が増加したが、給与改定、賃金、物価高騰等の影響による費用の増加も大きく、経常収支は大幅な赤字となった。  
看護師等の不足により一病棟が閉鎖しており、看護師等の確保が喫緊の課題であり、病棟再開に向けた支度金制度等の看護師等の確保策に取り組み、医療機器の更新や建物附属施設等の整備は今後も必要であるため、減価償却費等も踏まえ、収益の確保に努める。

今後も当地域の基幹病院・中核病院として、各医療機関との機能分化や連携を図りながら、地域に必要とされる医療を提供する責務を果たしていく。

※1類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。